

道するべ

第35号
令和2年3月

長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 道守養成ユニット事務局

長崎地域部会の活動報告“10月・12月”

令和元年10月10日（木）、12月20日（金）の2回に分けて「道守養成ユニットの会」の長崎地域部会としての初めての研修会を開催いたしました。

今回は、噂の土木応援チーム『デミーとマツ』に講演を依頼したところ、お二人別々での参加となりましたので、2回に分けての開催となりました。

1回目は、出水亨博士（工学）による『デミーとマツ式 伝わる土木広報の秘密』と題しての講演をいただきました。従来土木工事は[きつい、汚い、危険]の3Kの時代でした。それを排除し土木工事に興味がわくような説明の仕方、方法について多くのことを教えていただき大変興味深く参考になる内容でした。特に市民参加型見学会を開催するにあたっては、開催する当事者が高い意識をもたないと市民へのアピールにはならないことがよくわかりました。作業している私たち自身が「楽しく仕事をする」ことが一番と感じました。

2回目は、松永昭吾様を招き『まもる社会とつくる未来』～今後の社会基盤整備や管理のあり方、および持続可能な社会構築に向けて地産地消の重要性について考える～と題しての講演をいただきました。国内と問わず海外でも橋梁の設計に携わっておられる経験を活かし、災害が多い日本のこれからの橋梁の構築および維持管理の方法等、災害の傷跡を参考にして細かく説明していただき、インフラ事業の大切さを説くと共に、道守制度の大切さに身が引き締まる思いでした。

講演後は、道守ポータルサイトの活用をもっと盛んに行うことで役所との連携を深めることが出来ることや、内容のあげ方についての説明を行いました。また、今後の活動についての意見交換を行いボランティア清掃（道路）だけでなく、いろんなところ（公園、海岸、トンネル等）で今後検討・相談しながら進めていくことを確認しました。

最後に、講師を交え意見交換会を開催し今後も「道守養成ユニットの会」をもっと進展させる為に各自頑張ることを確認し終了いたしました。



10月10日研修会



12月20日研修会

デミーとマツのお二人、ありがとうございました！

道守養成ユニットの会ロゴマークの決定！

道守ユニットの会会員の皆様に投票をしていただいた結果です！今後、利用していきたいと思います。

◆道守養成ユニット ロゴマークについて



第1案と第3案が採用

◆道守養成ユニット ロゴマークについて



※2月27日の成果報告会にて発表させていただきました。

令和元年度道守養成ユニット成果報告会

～ 大石先生、小原様を招いての成果報告会の開催 ～

令和元年道守養成ユニット成果報告会「地方の道をいかに守っていくか」は、去る令和2年2月27日に開催され、会場となった長崎大学文教スカイホールには約190人に上る建設・設計業関係者、国・自治体職員、ME連携会議メンバー、一般市民らが参加した。新型コロナウイルス感染症の感染拡大を減らすためにイベントの開催を自粛する動きの中で、可能な限りの対策を実施して開催した。

報告会の冒頭では、主催者を代表して、長崎大学大学院工学研究科長・インフラ長寿命化センター長松田浩教授による開会挨拶と道守養成ユニットを代表して長崎県土木部長岩見洋一氏による来賓挨拶がなされた。

成果報告として、まず、道守養成ユニットの会会長吉川國夫氏が「令和元年度道守養成ユニットの会活動報告」を行い、本格化した認定者の活動を紹介した。さらに、三根孝紹副会長が道守養成ユニットの会のロゴマークの選定結果と活用について報告した。次いで、高橋和雄特任研究員が「令和元年度道守養成ユニット実施報告」を行い、本年度の事業内容、実施成果、事業継続について報告した。次いで、道守活動優秀者の表彰があり、今年度は特定道守の三岳誠氏(佐世保地域部会推薦)および道守三浦愛希良氏(長崎地域部会推薦)の2人に感謝状が贈られた。参加者全員の記念写真を撮影して成果報告は終了した。

休憩を挟んだ後に、特別講演会に入り、先ず国土学総合研究所長・株式会社オリエンタルコンサルタンツ最高顧問大石久和氏による「「公共事業」から「インフラストック」へーわが国を救う経済と財政の正しい認識ー」と題する特別講演がなされた。講演の概要は次のとおりである。「わが国のインフラは概成された」などという誤った認識が、財政制度等審議会などからしき

令和元年度
道守養成ユニット
成果報告会
～地方の道をいかに守っていくか～

令和2年
2月27日(木)
13:30～17:30
聴講無料
先着250名

会場 長崎大学 文教スカイホール
長崎大学 グローバル教育・学生支援棟 4F
(長崎市文教町1-14)

特別講演
「「公共事業」から「インフラストック」へ
ーわが国を救う経済と財政の正しい認識ー」
国土学総合研究所長・株式会社オリエンタルコンサルタンツ最高顧問 大石 久和氏

「小さい土屋さんと未来土木を創っていくには…
ー良い考えに良い行動をしていく土木が必要な気がするー」
株式会社コイン代表取締役 小原 文男氏

主催 長崎大学、道守養成ユニットの会
共催 長崎県、(公財)長崎県建設技術研究センター、(一社)長崎県建設業協会、
(一社)長崎県建築設計コンサルタンツ協会
後援 国土交通省九州地方整備局長崎河川国道事務所、土木学会西部支部、長崎県土木施工管理技士会、
(一社)九州橋梁・構造工学研究会、上田記念財団、長崎地盤研究会、産業基盤維持管理技術研究会

※本報告会は土木施工管理技士会CPDSプログラム(3ユニット)に認定されています。
(CPDSが必要な場合、証明発行料1000円必要です。)(「道守養成ユニットの会」会員以外)

問い合わせ先
長崎大学大学院工学研究科インフラ長寿命化センター
〒852-8521 長崎市文教町1-14 FAX:095-819-2879
URL: <http://michimori.net/>

095-819-2880
michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp



吉川会長による報告

りに発信され、世の中に流布している。しかし、この認識は間違いである。

交通インフラは経済競争力の原点で高い労働生産性を確保するためのツールであるから、競争相手国との比較優位にあるかどうかが達成度の判断基準である。また、防災インフラは災害外力から人々の生命財産を守る要であるが、進行する気象の凶暴化に対抗できるレベルにまで整備されたかどうか整備水準についての判断ポイントである。まったく成長しない経済、ひたすら貧困化する国民、これらは間違った政策方針である「財政再建至上主義」がもたらした。正しい認識に基づくインフラ整備への行動こそが、転落する日本を救い、豊かな国民生活を実現できる」。この説明がわかり易く、明快であったので、大石先生のファンのみならず、参加者の評価が大変高い講演となった。



特別講演 大石先生

次いで、株式会社コイシ代表取締役小原文男氏による「小さい土建屋さん」と未来土木を創っていくには・・・一良い考えに良い行動をしていく土木が必要な気がする」の特別講演がなされた。特別講演の基本的な考え方は次のとおりである。



特別講演 小原社長

「江戸時代の三浦梅園の次の言葉がある。「自然界が人間の先生だ」。「相反するモノは、二つで一つだ」。「天境(自然の恵み)と人境(人間の知恵)が、かみ合ったとき本当の良いものが出来上がる」。これらを踏まえると、土木とは、「自分たちの地域は自分たちで豊かにしていく土木」だ。それを担っていくのが地域の小さい土建屋さんになる。アフガニスタンの復興に尽力された中村哲さんではないが、優秀な人(現場の末端で働く人たちを助けていく人)が、現場に降りてくることが土木に必要なだ。即ち、小さい土建さんの仕事(地域の山の役割、小川の役割、湾・海岸)を企画し、インフラ整備等で培われた技術の蓄積を、各地域の1つ1つの現場で利用可能なカタチに落とし込み、小さい土建さんが活用していく。それをこれからの持続可能な国土づくりとして、地域気運を上げていくと、国の機関も動いてくれるはずである」。

この考え方の実現に向けてのこれまでの活動とこれからを意欲的に説明し、参加者に人間力の重要性を認識させ、考えるヒントを提供した。

2つの特別講演とも大変充実した内容で、参加者のモチベーション向上に役立った。

最後に、長崎県建設業協会谷村隆三会長の閉会挨拶をもって報告会は盛況のうちに終了した。



会場の様子



集合写真



道守優秀活動賞の候補について、今年度から道守養成ユニットの会の地域部会から推薦していただきました。

佐世保地域部会から三岳誠氏(特定道守)の推薦がありました。推薦理由は次のとおりです。「三岳氏は佐世保地域部会の運営に尽力し、昨年度は初の地域部会開催ならびに愛護団体登録と清掃活動を開催された。本年度は実橋梁を題材にした点検研修を企画、実行され、更には九州道守会議にてその活動を発表されるなど、佐世保地域会員のレベルアップと交流、活性化に大きく貢献されました。」

長崎地域部会から三浦愛希良氏の推薦がありました。推薦理由は次のとおりです。「三浦氏は長崎地域部会の運営に尽力し、長崎地域の道路見守り活動の計画、実施をするとともに、研修会や報告会の運営に尽力し、長崎地域部会の交流、活性化に大きく貢献されました。また、道守養成ユニットの会の事業部会を担当し、行事の活性化にも大きな貢献をされました。」

センター長と道守養成ユニットの会会長の合議により、お二人の受賞が決定しました。

表彰式は、2月27日の道守養成ユニット成果報告会で行われました。

当日は、三岳様は、所要のために欠席されました。

いかに、三岳様と三浦様の受賞挨拶を掲載いたします。

【三岳様の御挨拶】：この度は、栄えある優秀活動表彰者にお選びいただき、誠にありがとうございます。心より感謝いたします。ただただ驚いております。昨年のフォローアップ研修は、地域部会の発足時に「佐世保地域部会で何かやりたいね。」と多くの方々とお話させていただき企画させていただきました。研修の実施に際しては、事務局ならびに会員の皆様のお陰であると実感しております。今後も、多くの人たちとともに佐世保地域部会のみならず道守養成ユニットの会を盛り上げて行きたいと思っております。

【三浦様の御挨拶】：この度は、優秀活動表彰を頂き誠にありがとうございます。この『道守養成ユニットの会』のメンバーには、もっと多くの活動や、活躍をされている先輩方がたくさんいらっしゃいます。そんな中で選んで頂いたことに大変恐縮しているところですが、これからの活動にも期待してとのことだと受け止めております。また来年度も道守や長崎のために出来ることを考えながら1年間過ごしたいと思います。この度は、本当にありがとうございました。



三岳 誠さん



三浦愛希良さん

道守・MEワークショップ・シンポジウム開催に向けての打合せ

例年開催していましたが、道守・MEワークショップとシンポジウムですが、文部科学省の支援が一昨年終了しましたので、昨年度は開催しておりませんでした。しかし、各地の修了生より、『開催してほしい』との声が多数寄せられ、5大学（岐阜大学・新潟大学・愛媛大学・山口大学・長崎大学）+1高専（舞鶴高専）連携コンソーシアム会議により、2020年度に開催することが決定しました。開催に向けての初回打合せを、2月28日に長崎大学で行いました。

各地区の修了生代表、大学関係者24名が集まり、講座を主宰する大学の想いを先生方からお話しいただき、「修了生のワークショップをする目的、意義、意識統一」についてグループに分かれ討議しました。

7月、新潟で開催することが決定し、それに向けての運営についても、話を進めました。



みんながんばってます！

地域活動紹介

今回の活動紹介は、県央・島原・上五島地域区です。それぞれの地域で、道路見守り活動を実施しました。



県央地域の皆さん：11月



県央地域の皆さん：2月



島原地域の皆さん



上五島地域の皆さん

暑い時、寒い時があったと思います。皆さん、お疲れさまでした。今年度は、各地域でのフォローアップ研修会や合同点検などの報告もあっています。計画し、実行してくださる皆様のおかげで「道守」の活動は成り立っています。

このような活動をされた際は、ポータルでの活動ポイントの申請をお願いいたします。



編集後記

早いもので、私がセンターに入ってから4年が経ちました。この3月をもって、センターを卒業します。

以前、橋梁関係の仕事をしておりました。専業主婦から、再び橋に関わることになるとは夢にも思っておらず、また、自分がお世話になった松田先生の元での仕事ということで、いろいろ『縁』を感じたものでした。

外部講師の方も以前の上司とつながりあり、さらに『縁』を感じる日々でした。センターでの業務を続けることができたのも、道守認定者の皆様、外部講師の皆様、そして長崎大学の皆様、たくさんの方のおかげと感謝しております。ありがとうございました。また、県外の関係者の方とも新たに『縁』を作ることができ、出会いに感謝しております。ありがとうございました。充実した4年間でした。

これからは、外から、皆様の活躍を応援させていただきます。『安心』『安全』なくらしには、皆様が必要です！



吉田 裕子

発行 2020.3.19

問合わせ先

長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 道守養成ユニット事務局

〒852-8521 長崎市文教町1番14号 TEL 095-819-2880 FAX 095-819-2879

Mail: michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp

【公式サイト】

<http://ilem.jp>



【Facebook】

<https://www.facebook.com/ilem.nagasaki>

